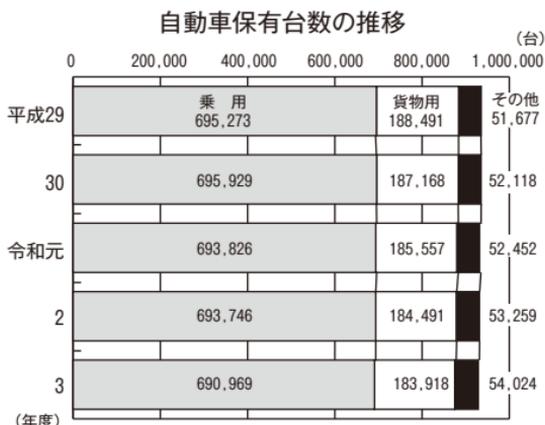


6. 運 輸

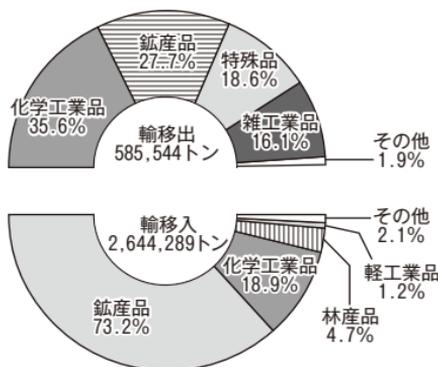
自動車

令和4年3月31日現在の本県の自動車保有台数は928,911台で、前年同期に比べ2,585台(0.3%)減少している。

車種別増減では、貨物車が0.3%減、乗用車が0.4%減となっている。乗用車の内訳をみると、普通乗用車(3ナンバー)が1.7%増、小型乗用車(5ナンバー)が2.5%減、軽自動車が0.1%減となっている。



酒田港輸移出入の品種別構成比
(令和3年)



港湾

令和3年中に酒田港に入港した船舶は2,134隻で、総トン数396万トンとなっている。また、酒田港の貨物取扱数量(輸移出入計)は323万トンで、そのうち輸移入が264万トンと、全体の81.8%を占めている。

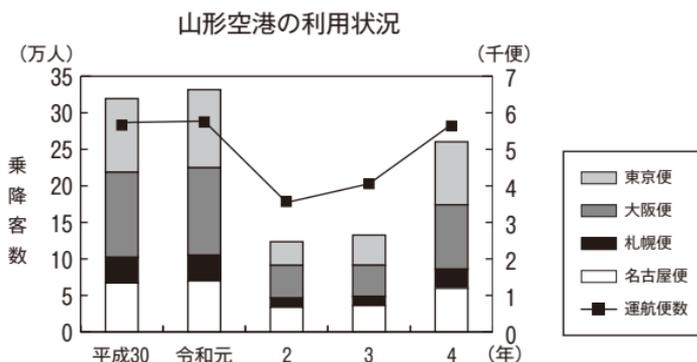
主な貨物の種類をみると、輸移入で鉱産品193万トン、化学工業品50万トン、林産品12万トンなどとなっている。

空 港

山形空港

令和4年の定期便の就航状況は、運航便数が5,680便で、前年より1,623便(40.0%)の増便となり、就航率は99.0%である。乗降客数は260,330人となり、前年より127,696人(96.3%)増加している。

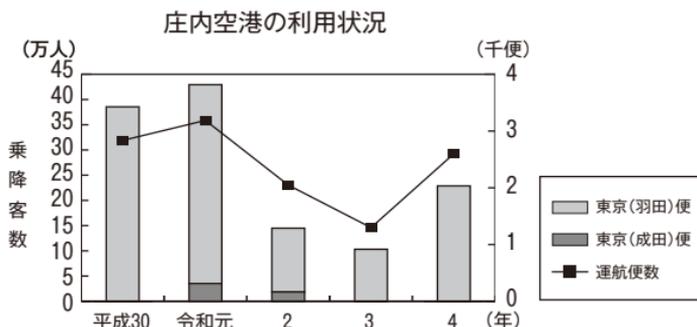
就航路線別にみると、東京便は1,470便の運航で乗降客数86,228人、大阪便は2,081便の運航で乗降客数88,052人、札幌便は667便の運航で乗降客数26,224人、名古屋便は1,462便の運航で乗降客数59,826人であった。



- 注：1) 東京便は、平成26年3月30日から2往復/日。
 2) 大阪便は、平成21年11月から3往復/日。
 3) 札幌便は、平成29年3月26日から再開、1往復/日。
 4) 名古屋便は、平成28年3月27日から2往復/日に増便。

庄内空港

令和4年の定期便の就航状況は、運航便数が2,600便で、前年より1,302便(100.3%)の増便となり、就航率は97.2%である。乗降客数は228,815人となり、前年より125,628人(121.7%)増加している。



- 注：東京(成田)便は、令和元年8月から運航。令和2年10月から運休。

93 車種別保有自動車数

区 分	総 数	貨 物 用					乗合用 普通・ 小型車
		小 計	普通車	小型車	被けん引車	軽自動車	
平成29年度	935,441	188,491	24,292	37,757	521	125,921	2,578
30	935,215	187,168	24,285	37,309	540	125,034	2,559
令和元	931,835	185,557	24,234	36,958	550	123,815	2,522
2	931,496	184,491	24,194	36,647	577	123,073	2,439
3	928,911	183,918	24,120	36,367	583	122,848	2,373

資料：国土交通省東北運輸局山形運輸支局

94 自動車運送事業

(1) 自動車運送事業者数

各年度3月31日現在

区 分	平成29年度	30	令和元	2	3	
一 般 乗 合	3	3	3	3	4	
一 般 貸 切	39	38	38	37	37	
一 般 乗 用	{ 法 人 個 人	126	126	128	128	125
		74	73	72	72	72
一 般 貨 物	471	467	471	467	475	
特別積合せ事業	10	10	8	14	15	
霊 柩 輸 送	57	56	56	57	56	
特 定 貨 物	3	3	3	3	2	
貨 物 運 送 取 扱	…	…	…	…	…	
軽 貨 物	1,034	1,066	1,079	1,048	1,131	

注：1) 山形県外に本社のある事業者を含む。

2) 一般乗合については、平成18年10月1日道路運送法改正前からの事業者数。

3) 特別積合せ事業については、一般貨物の内数。

(2) 自家用自動車有償貸渡事業者数

各年度3月31日現在

区 分	平成29年度	30	令和元	2	3
レ ン タ カ ー	222	237	247	259	273

各年度3月31日現在

小計	乗用			特種(殊)用途用	二輪車
	普通車	小型車	軽自動車		
695,273	168,238	243,087	283,948	23,593	25,506
695,929	173,070	237,950	284,909	23,774	25,785
693,826	176,963	231,965	284,898	23,680	26,250
693,746	180,766	226,810	286,170	23,785	27,035
690,969	183,788	221,169	286,012	23,886	27,765

(3) 旅客自動車運送事業

各年度3月31日現在 単位：車=台、人員=千人、キロ=千km、収入=千円

区分	実在車	輸送人員	走行キロ	輸送収入
一般乗合				
平成29年度	295	8,561	11,743	2,305,893
30	295	8,636	11,600	2,382,420
令和元	283	8,663	11,648	2,502,974
2	294	6,301	9,859	1,412,142
3	294	7,049	13,443	2,134,435
一般貸切				
平成29年度	380	1,848	10,162	4,026,401
30	737	1,768	9,734	3,922,332
令和元	364	1,526	8,604	3,419,725
2	369	585	2,881	1,272,857
3	331	612	2,483	1,745,356
一般乗用				
平成29年度	1,314	6,294	36,440	6,152,347
30	1,383	6,146	36,094	6,111,542
令和元	1,359	5,685	33,520	5,755,788
2	1,320	3,366	20,984	3,432,319
3	1,296	3,545	22,375	3,665,297

注：1) 一般乗合については、平成18年10月1日道路運送法改正前からの事業者の実績。

2) 一般乗用については、限定事業者の実績は含めず。

資料：(1)～(3)国土交通省東北運輸局山形運輸支局

95 有料道路の交通量

単位：台数=台、金額=千円

区分	羽黒山自動車道		湯殿山自動車道	
	台数	金額	台数	金額
平成30年	151,698	31,532	52,054	10,459
令和元	153,015	31,535	51,818	10,299
2	75,014	14,888	34,616	6,377
3	127,014	25,150	53,544	9,974
4	122,294	24,316	41,728	7,978

注：台数、金額には回数券分を含む。

資料：庄内交通株式会社

96 高速道路の交通量

単位：台

区分	西川本線		西川インター		寒河江インター		山形北インター	
	入口 交通量	出口 交通量	入口 交通量	出口 交通量	入口 交通量	出口 交通量	入口 交通量	出口 交通量
平成30年	900,500	932,200	120,000	107,800	498,500	425,700	967,900	992,600
令和元	894,300	926,800	115,900	101,500	488,400	423,400	930,100	1,048,500
2	692,400	725,100	94,300	85,400	397,600	343,000	730,800	774,300
3	671,900	705,700	100,800	94,600	398,000	348,000	732,800	774,500
4	743,600	769,200	112,700	108,300	433,800	385,400	853,000	891,300

区分	山形蔵王インター		開沢インター		米沢北本線		山形上山インター		山形中央インター	
	入口 交通量	出口 交通量								
平成30年	1,560,800	1,656,400	740,500	712,400	1,022,300	1,050,200	537,900	558,400	611,100	583,000
令和元	1,496,400	1,707,400	742,400	786,000	1,348,600	1,387,500	663,700	705,600	717,700	783,900
2	1,147,700	1,229,700	655,200	629,500	1,122,900	1,163,900	589,300	575,200	629,600	622,400
3	1,110,200	1,190,900	593,700	572,900	1,132,000	1,171,900	612,800	604,600	660,800	646,600
4	1,278,100	1,364,700	628,600	608,400	1,240,300	1,294,900	683,800	675,200	739,300	729,100

区分	天童インター		天童本線		寒河江SA		かみのやま温泉インター		南陽高島インター	
	入口 交通量	出口 交通量	入口 交通量	出口 交通量	入口 交通量	出口 交通量	入口 交通量	出口 交通量	入口 交通量	出口 交通量
平成30年	205,100	193,300	598,600	610,100	181,900	187,800	-	-	-	-
令和元	247,400	265,900	738,000	807,600	174,200	195,300	170,800	195,100	677,800	706,800
2	210,900	202,600	636,200	639,000	151,400	161,400	180,600	186,900	649,500	600,300
3	215,800	207,700	675,000	676,400	158,800	165,800	182,900	191,300	659,100	613,100
4	259,200	261,200	844,400	825,300	176,500	183,300	219,000	223,500	719,900	667,700

区分	湯殿山インター	鶴岡本線	鶴岡インター	酒田本線	酒田インター	酒田みなとインター
	出入交通量	出入交通量	出入交通量	出入交通量	出入交通量	出入交通量
平成30年	1,672,000	710,500	1,026,200	696,100	749,600	660,500
令和元	1,643,400	703,700	982,000	709,600	718,400	672,500
2	1,294,300	547,000	774,200	534,900	565,500	510,100
3	1,259,200	540,000	750,500	565,300	565,300	586,800
4	1,360,500	581,500	812,700	664,300	617,100	702,100

注：1) 100台未満を四捨五入している。

2) 米沢北本線の交通量計測について、平成29年9月28日より、米沢北インターから米沢北本線料金所に変更となった。また、交通量は、支払い方法変更に伴い平成31年3月13日からは、米沢北本線のみで計測。

3) 天童本線の交通量計測について、平成29年12月1日より、東根インターから天童本線料金所に変更となった。

4) かみのやま温泉インターの交通量は、新規供用に伴い平成31年4月13日から計測。

5) 南陽高島インターの交通量は、支払い方法変更に伴い平成31年3月13日から計測。

資料：東日本高速道路株式会社東北支社山形管理事務所、鶴岡管理事務所

97 主な国道の交通量

平成27年度 単位：交通量＝台

国道名	平日12時 交通量	平日24時 交通量	昼夜率 24h/12h	休日12時 交通量	休日12時 休日	観測地点地名
日本海東北自動車道	827	1,221	1.48	-	-	鶴岡JCT料金所～鶴岡JCT間
山形自動車道	12,582	15,843	1.26	-	-	関沢IC～山形蔵王IC間
〃	7,963	10,043	1.26	-	-	山形蔵王IC～山形北IC間
〃	6,229	7,426	1.19	-	-	山形北IC～山形JCT間
〃	6,502	7,748	1.19	-	-	山形JCT～寒河江IC間
〃	5,017	5,964	1.19	-	-	寒河江IC～寒河江SIC間
〃	4,324	5,131	1.19	-	-	寒河江SIC～西川IC間
〃	4,249	5,028	1.18	-	-	西川IC～月山IC間
〃	3,483	4,134	1.19	-	-	湯殿山IC～庄内あさひIC間
〃	3,117	3,697	1.19	-	-	庄内あさひIC～鶴岡IC間
〃	1,710	2,030	1.19	-	-	鶴岡IC～鶴岡JCT間
〃	2,537	3,251	1.28	-	-	鶴岡JCT～庄内空港IC間
〃	2,163	2,763	1.28	-	-	庄内空港IC～酒田IC間
〃	972	1,358	1.40	-	-	酒田IC～酒田みなとIC間
東北中央自動車道	2,382	2,720	1.14	-	-	山形上山IC～山形中央IC間
〃	4,896	5,688	1.16	-	-	山形中央IC～山形JCT間
〃	3,654	4,278	1.17	-	-	山形JCT～天童IC間
〃	2,839	3,321	1.17	-	-	天童IC～東根IC間
日本海沿岸東北自動車道	3,822	5,064	1.32	-	-	鶴岡市大岩川字家之平
〃	4,815	6,339	1.32	-	-	鶴岡市三瀬字山田
〃	5,536	7,225	1.31	-	-	鶴岡市三瀬字獅子畑
〃	827	1,221	1.48	-	-	鶴岡JCT料金所
一般国道13号(尾花沢新庄道路)	3,194	3,777	1.18	-	-	尾花沢市大字萩袋
〃	13,180	16,759	1.27	-	-	尾花沢市大字毒沢
〃	12,511	15,934	1.27	-	-	新庄市大字鳥越
〃	4,361	5,629	1.29	-	-	新庄市大字松本
一般国道13号(主寝坂道路)	2,631	3,525	1.34	-	-	最上郡金山町大字中田
一般国道13号(米沢南陽道路)	2,506	2,921	1.17	-	-	米沢北IC～南陽高島IC間
一般国道7号	3,964	5,324	1.34	-	-	鶴岡市鼠ヶ岡
〃	3,658	4,757	1.30	-	-	鶴岡市小波渡字明ノ下
〃	12,301	15,376	1.25	-	-	東田川郡三町大字猪子字大塚端
〃	18,318	22,861	1.25	-	-	酒田市広野
〃	12,683	15,401	1.21	-	-	酒田市宮海字新林
一般国道13号	7,133	9,412	1.32	-	-	米沢市万世町祥山
〃	15,148	19,246	1.27	-	-	東置賜郡高島町大字福沢
〃	19,980	25,617	1.28	-	-	南陽市元中山
〃	25,999	32,707	1.26	-	-	上山市大字金谷
〃	38,880	50,209	1.29	-	-	山形市鈴川四丁目
〃	33,154	43,385	1.31	-	-	天童市中里七丁目
〃	25,593	32,202	1.26	-	-	村山市中央一丁目
〃	19,653	24,800	1.26	-	-	尾花沢市大字五十沢
〃	12,319	15,377	1.25	-	-	新庄市大字泉田
一般国道47号	9,054	11,103	1.23	-	-	新庄市大字福田
〃	6,857	8,577	1.25	-	-	東田川郡庄内町清川字腹巻野
一般国道48号	7,038	9,173	1.30	-	-	東根市関山
一般国道112号	20,848	26,890	1.29	-	-	東村山郡中山町大字長崎
〃	15,265	19,649	1.29	-	-	寒河江市大字高屋
〃	16,159	20,618	1.28	-	-	寒河江市大字寒河江字横道
〃	6,884	8,053	1.17	-	-	西村山郡西川町大字海味
〃	6,915	8,217	1.19	-	-	鶴岡市田委仮字鶴ノ里
〃	9,545	11,078	1.16	-	-	鶴岡市伊勢横内字畑福
〃	19,510	23,997	1.23	16,581	0.85	酒田市堤町
一般国道113号	3,313	4,687	1.41	-	-	西置賜郡小国町大字小国小坂町
〃	5,353	6,872	1.28	-	-	西置賜郡小国町大字松園
〃	4,778	6,175	1.29	-	-	西置賜郡飯豊町大字手ノ子
〃	7,674	9,648	1.26	-	-	南陽市森生田
〃	8,465	10,464	1.24	-	-	東置賜郡高島町大字深沼
〃	1,491	1,804	1.21	-	-	東置賜郡高島町大字二井宿
一般国道121号	7,064	8,477	1.20	6,830	0.97	米沢市堀井町堀野
〃	7,058	8,893	1.26	-	-	米沢市成島町二丁目
一般国道286号	14,113	17,359	1.23	14,806	1.05	山形市松波一丁目
一般国道287号	15,647	19,246	1.23	-	-	長井市館町北
〃	10,657	13,428	1.26	11,163	1.05	西置賜郡白鷹町大字畔蕨
〃	16,051	20,545	1.28	13,744	0.86	西村山郡河北町谷地字真木
一般国道344号	6,258	7,760	1.24	-	-	酒田市上野曾根字野野目端
一般国道345号	11,805	14,284	1.21	-	-	鶴岡市藤島字笹花
一般国道347号	5,004	6,255	1.25	-	-	尾花沢市大字尾花沢字赤坂
〃	3,692	4,615	1.25	4,192	1.14	尾花沢市大字二藤袋字久保
一般国道348号	17,658	22,779	1.29	16,817	0.95	山形市南館三丁目
一般国道458号	2,414	2,945	1.22	-	-	最上郡大蔵村大字清水字白須賀
〃	8,756	11,033	1.26	8,496	0.97	寒河江市大字平塩字沖ノ目
〃	14,160	18,125	1.28	-	-	上山市軽井沢一丁目

6
運
輸

注：1）観測日 平日 平成27年9月～11月の土曜日、日曜日、祝祭日及びその前後の日を除く平日のうち1日

休日 平成27年9月～11月の日曜日のうち1日

観測時間帯 午前7時～午後7時（12時間）、午前7時～翌日午前7時（24時間）

2）交通量は自動車類交通量の合計。 3）平日24時間交通量については推計値を含む。

資料：県道路整備課（高速道路整備推進室）「平成27年度自動車交通量調査」

98 港 湾

令和4年3月31日現在 単位：水深 = m、面積 = m²

港名	所属地名	港格	泊地水深	泊地面積	
酒田港	酒田市	重要港湾	大型船舶地	-4.5~-13.0	1,356,354
			小型	-2.0~-4.0	219,103
鼠ヶ関港	鶴岡市	地方港湾(避難)	大型	-5.0~-5.0	120,000
			小型	-2.0~-4.0	41,610
加茂港	鶴岡市	地方港湾	大型	-4.5~-4.5	33,810
			小型	-2.0~-2.0	17,350

資料：県空港港湾課

99 酒田港の施設概要

令和4年3月31日現在 単位：m

区分	延長	区分	延長
防波堤		防砂堤	
北防波堤(本港)	665	防砂堤(本港)	48
第2北防波堤(北港)	1,332	第1船だまり防砂堤	26
南防波堤(本港)	2,068	防砂堤(外港)	285
袖岡船だまり防波堤	414	護岸(総延長)	7,467
第1酒田PBS防波堤	130	取付護岸(総延長)	537
第1船だまり防波堤	32		
北防波堤(北港)	2,323	海岸堤	
防除堤(北港)	75	突堤	10基 546
古湊木材泊地防波堤	170	護岸堤	3,570
宮海船だまり防波堤	95	離岸堤	8基 1,360
第2酒田PBS防波堤	44	そこの他堤	
波除堤(漁港区)	20	導流堤	2,870

資料：県空港港湾課

100 酒田港の入港船舶実績

単位：総隻数 = 隻、総トン数 = t

区分	総数		外航船舶		内航船舶	
	総隻数	総トン数	総隻数	総トン数	総隻数	総トン数
平成29年	2,979	4,192,237	304	3,031,670	2,675	1,160,567
30	2,469	3,976,005	241	2,954,713	2,228	1,021,292
令和元	2,398	4,114,293	219	3,150,908	2,179	963,385
2	3,272	3,935,140	231	2,839,921	3,041	1,095,219
3	2,134	3,960,141	214	2,848,699	1,920	1,111,442

資料：県空港港湾課

101 鼠ヶ関港と加茂港の入港船舶実績

単位：総隻数 = 隻、総トン数 = t

区分	鼠ヶ関港		加茂港	
	総隻数	総トン数	総隻数	総トン数
平成29年	1,431	50,951	82	10,952
30	1,554	40,340	84	11,296
令和元	1,442	33,113	60	7,204
2	1,499	25,852	48	5,376
3	1,344	26,146	52	5,824

資料：県空港港湾課

102 酒田港輸移出入貨物品種別実績

単位：t

区 分	輸 移 出		輸 移 入	
	令和2年	3	令和2年	3
総 数	490,179	588,544	2,301,706	2,644,289
農 水 産 品	353	416	11,130	10,085
林 産 品	8,110	2,521	114,287	124,187
鉱 産 品	114,924	163,282	1,558,182	1,934,611
金 属 機 械 工 業 品	7,500	6,454	32,157	24,627
化 学 工 業 品	149,571	209,460	530,180	498,884
軽 工 業 品	3,386	1,994	35,626	32,080
雑 工 業 品	120,332	94,872	14,736	14,675
特 殊 品	85,917	109,463	5,373	5,113
分 類 不 能 の も の	86	82	35	27

資料：県空港港湾課

103 空港の概要

令和4年3月31日現在

区 分	山 形 空 港	庄 内 空 港
種 類	陸上飛行場 特定地方管理空港	陸上飛行場 地方管理空港
設 置 者	国土交通大臣	山形県
管 理 者	山形県	山形県
位 置	山形県東根市	山形県酒田市・鶴岡市
総 面 積	91.5ha (914,943㎡)	107.5ha (1,074,806㎡)
着 陸 帯	長さ2,120m×幅300m C級	長さ2,120m×幅300m C級
滑 走 路	長さ2,000m×幅45m (N6° 34' 51" E 真方位)	長さ2,000m×幅45m (N79° 26' 49" E 真方位)
誘 導 路	長さ230m×幅30m	長さ150m×幅30m
エ プ ロ ン	31,030㎡ (10バース：中型J-2、 小型J-2、小型機-6)	33,750㎡ (4バース：中型J-3、 小型J-1)
空 港 保 安	精密進入(CAT-1)用航空灯火一式、 エプロン照明灯等	精密進入(CAT-1)用航空灯火一式、 エプロン照明灯等
無 線 施 設	ILS (計器着陸装置)、VOR/DME、	ILS (計器着陸装置)、VOR/DME
就 航 路 線 等	東京 (2往復)、大阪 (3往復)、 名古屋 (2往復)、札幌 (1往復)	東京 (4往復)
ターミナル施設	ターミナルビル 5,311㎡	ターミナルビル 5,346㎡
	航空局庁舎 1,442㎡	航空局庁舎 1,342㎡
	貨物ビル 625㎡	貨物ビル 467㎡
	給油施設	給油施設
	給油タンク 200kl×1基 小型機燃料給油施設	給油タンク 110kl×2基

注：滑走路の方位については、世界測地系による。

資料：県空港港湾課

104 山形空港の利用状況

(1) 総括

単位：便数＝便、率＝％、客数＝人

区分	就航状況			客数			搭乗率
	運航便数	欠航便数	就航率	乗客数	降客数	計	
平成30年	5,733	107	98.2	159,570	159,863	319,433	68.0
令和元	5,773	67	98.9	164,826	166,892	331,718	69.2
2	3,545	53	98.5	61,390	62,112	123,502	41.7
3	4,057	33	99.2	64,924	67,710	132,634	38.9
4	5,680	56	99.0	129,858	130,472	260,330	54.7

注：1) 欠航便数には、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う需要減退による欠航を含まない。

2) 令和3年の利用状況は、2月13日発生の地震の影響による東北新幹線一部運休に伴う臨時便を含む。

3) 令和4年の利用状況は、3月16日発生の地震の影響による東北新幹線一部運休に伴う臨時便及び3月1日から8月21日までの期間で実施された名古屋便の増便を含む。

(2) 東京便

単位：便数＝便、率＝％、客数＝人

区分	就航状況			客数			搭乗率
	運航便数	欠航便数	就航率	乗客数	降客数	計	
平成30年	1,424	36	97.5	50,050	50,743	100,793	77.8
令和元	1,431	29	98.0	53,257	53,740	106,997	78.7
2	836	10	98.8	15,902	16,454	32,356	40.7
3	1,210	10	99.2	19,927	21,407	41,334	36.0
4	1,470	22	98.5	43,015	43,213	86,228	61.8

注：1) 平成22年10月31日から小型機1往復/日。平成26年3月30日から2往復/日。

2) 欠航便数には、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う需要減退による欠航を含まない。

3) 令和3年の利用状況は、2月13日発生の地震の影響による東北新幹線一部運休に伴う臨時便を含む。

4) 令和4年の利用状況は、3月16日発生の地震の影響による東北新幹線一部運休に伴う臨時便を含む。

(3) 大阪便

単位：便数＝便、率＝％、客数＝人

区分	就航状況			客数			搭乗率
	運航便数	欠航便数	就航率	乗客数	降客数	計	
平成30年	2,165	25	98.9	58,126	58,278	116,404	70.2
令和元	2,172	18	99.2	58,813	60,707	119,520	72.0
2	1,236	18	98.6	21,967	22,811	44,778	47.5
3	1,340	8	99.4	21,042	21,645	42,687	41.3
4	2,081	11	99.5	43,681	44,371	88,052	55.2

注：1) 平成21年11月から3往復/日。

2) 欠航便数には、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う需要減退による欠航を含まない。

(4) 札幌便

単位：便数＝便、率＝％、客数＝人

区分	就航状況			客数			搭乗率
	運航便数	欠航便数	就航率	乗客数	降客数	計	
平成30年	709	21	97.1	17,633	17,505	35,138	59.9
令和元	723	7	99.0	17,386	17,876	35,262	58.1
2	462	8	98.3	6,253	6,201	12,454	32.2
3	432	-	100.0	6,029	6,417	12,446	35.2
4	667	11	98.4	13,186	13,038	26,224	47.4

注：1) 平成22年10月31日から運休。平成29年3月26日から再開、1往復/日。

2) 欠航便数には、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う需要減退による欠航を含まない。

(5) 名古屋便

単位：便数＝便、率＝％、客数＝人

区分	就航状況			客数			搭乗率
	運航便数	欠航便数	就航率	乗客数	降客数	計	
平成30年	1,435	25	98.3	33,761	33,337	67,098	57.8
令和元	1,447	13	99.1	35,370	34,569	69,939	60.0
2	1,011	17	98.3	17,268	16,646	33,914	40.4
3	1,075	15	98.6	17,926	18,241	36,167	41.2
4	1,462	12	99.2	29,976	29,850	59,826	49.2

注：1) 平成22年10月31日から運休。平成26年3月30日から再開、1往復/日。平成28年3月27日から2往復/日。

2) 欠航便数には、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う需要減退による欠航を含まない。

3) 令和3年の利用状況は、2月13日発生の地震の影響による東北新幹線一部運休に伴う臨時便を含む。

4) 令和4年の利用状況は、8月1日から8月21日までの期間で実施された名古屋便の増便を含む。

資料：(1)～(5)県総合交通政策課

105 庄内空港の利用状況

(1) 総括

単位：便数＝便、率＝％、客数＝人

区分	就航状況			客数			搭乗率
	運航便数	欠航便数	就航率	乗客数	降客数	計	
平成30年	2,835	85	97.1	190,052	195,425	385,477	72.7
令和元	3,188	38	98.8	213,479	215,963	429,442	69.9
2	2,048	53	97.5	73,035	71,907	144,942	43.2
3	1,298	81	94.1	51,466	51,721	103,187	53.4
4	2,600	74	97.2	113,081	115,734	228,815	54.5

注：欠航便数には、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う需要減退による欠航を含まない。

(2) 東京（羽田）便

単位：便数＝便、率＝％、客数＝人

区分	就航状況			客数			搭乗率
	運航便数	欠航便数	就航率	乗客数	降客数	計	
平成30年	2,835	85	97.1	190,052	195,425	385,477	72.7
令和元	2,890	30	99.0	195,253	198,767	394,020	70.3
2	1,782	36	98.0	63,488	63,009	126,497	44.0
3	1,298	81	94.1	51,466	51,721	103,187	53.4
4	2,600	74	97.2	113,081	115,734	228,815	54.5

注：欠航便数には、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う需要減退による欠航を含まない。

(3) 東京（成田）便

単位：便数＝便、率＝％、客数＝人

区分	就航状況			客数			搭乗率
	運航便数	欠航便数	就航率	乗客数	降客数	計	
平成30年	-	-	-	-	-	-	-
令和元	298	8	97.4	18,226	17,196	35,422	66.0
2	266	17	94.0	9,547	8,898	18,445	38.5
3	-	-	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-	-	-

注：1) 令和元年8月から運航。令和2年10月から運休。

2) 欠航便数には、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う需要減退による欠航を含まない。

資料：(1)～(3)県総合交通政策課

106 鉄道駅別年間乗車人員

奥羽本線

駅名	令和2年度	3
米沢	4,889	5,390
高畠	2,025	2,114
赤湯	3,021	3,354
かみのやま温泉	4,229	4,094
蔵王	3,615	3,672
山形	25,310	27,506
北山形	4,933	5,173
天童	3,583	3,777
さくらんぼ東根	3,831	4,149
村山	2,586	2,676
大石田	1,996	2,127
新庄	3,241	3,620

仙山線

駅名	令和2年度	3
山寺	1,043	1,125

米坂線

駅名	令和2年度	3
羽前小松	705	711
今泉	534	484

陸羽東線

駅名	令和2年度	3
最上	443	420

左沢線

単位：百人

駅名	令和2年度	3
羽前長崎	1,069	1,126
寒河江	2,687	2,821
左沢	887	930

羽越本線

駅名	令和2年度	3
鶴岡	2,896	3,152
藤島	695	675
余目	1,310	1,234
酒田	2,637	2,739
遊佐	420	400

フラワー長井線

駅名	令和2年度	3
赤湯	420	480
宮内	571	653
今泉	383	438
南長井	472	539
長井	623	711
荒砥	364	417

陸羽西線

駅名	令和2年度	3
狩川	157	175

注：1）乗車人員が概ね5万人以上の駅を中心に掲載した。

2）東日本旅客鉄道株式会社の路線について、無人駅（業務委託分除く）の集計は行っていない。

資料：東日本旅客鉄道株式会社、山形鉄道株式会社